

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動療育センターすきっぷ 美和台教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48名	(回答者数) 39名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 1日		令和7年 3月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員配置、有資格職員の充実さ	有資格者(理学療法士、作業療法士や保育士・公認心理士等)といった専門職員を積極的に採用しており、療育や支援に当たることができていること。また、児童2人に対して1人の職員で実働にあたるができているところ	事業所内、専門職員間やでの研修機会を確保することにより、専門性に磨きをかけて質の高い療育・支援の充実を図る
2	児童の担当制を設け、モニタリングや日々の支援会議を担当職員、児童発達支援管理責任者を中心に療育・支援を検討しているところ	モニタリング時に児童発達支援管理責任者、担当職員の2人体制で保護者面談等にはいることができるようしている	担当職員による事例検討会等を通じて事業所内の職員全体により児童の全体像を把握し、療育の方向性の統一を図る
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニング等といった保護者への教育機会が少ないこと	ペアレントトレーニングにおける知識やスキルを持っている職員が少ない、不足している	ペアレントトレーニングについての知識を職員が理解することで外部の研修会等に参加をする。また保護者向けの研修会等の広報、企画。
2	日々業務を改善していき、意識が少ないこと	現状の問題や改善が必要と思われることが職員より出てくることもあるが、PDCAサイクル等を意識して動ける職員が少ない	定期的な業務改善の会議の場を作り、改善までに必要な期日、担当者を設定し改善に努める
3			